

若草進路便り

発行/2024年1月19日 発行者/高知県立高知若草特別支援学校進路部 第4号

暖冬と言われる今冬ですが、時折やってくる寒さに、より厳しさを感じてしまいます。体調管理も難しいですね。

さて、締めめの3学期に入りました。高等部は事業所見学・現場実習が一段落しました。3学期は、来年度に向けて熟慮期間となります。感染症等が流行する時期なので外への活動は難しいこともあると思いますが、春になったら行動に移せるよう家族で話し合い・準備等をお願いします。



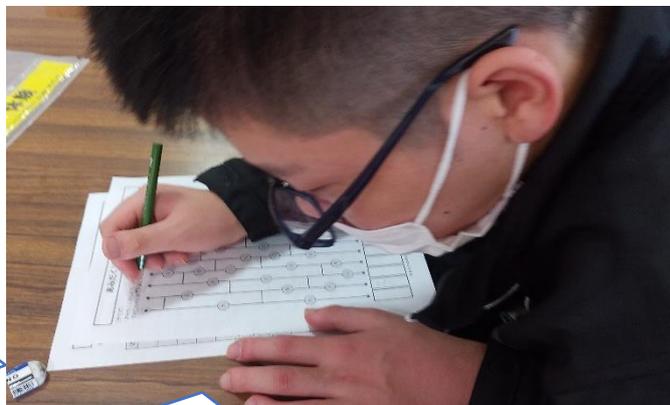
【現場実習報告】

I 高知ハビリテーリングセンター（春野町）

① 自立訓練（機能訓練）と（生活訓練）

それぞれ2泊3日の宿泊を伴った実習でした。運動・機能訓練だけでなく、「自立」に向けた生活全般にかかわったプログラムが個々に組み込まれていました。

夜間は個室で過ごします。トイレ・浴室・食堂や活動場所と居室間の移動などは、基本的に自分で行います。



昼のプログラムよりも、夜間の活動時間の長さを感じた実習だったようです。

お礼状には、一人の時間をどのように過ごすのかについて考えさせられたという感想が書かれていました。

【事業所見学】

① 障害者支援施設「とさ」（土佐市）

・生活介護：定員60名、施設入所：定員50名。

元々身体障害者施設だったので、施設内もバリアフリーで広くゆったりしています。若草の卒業生も入所しています。短期入所（ショートステイ）を含め、現在は空き床が1～2あるそうです。敷地内に、就労継続支援B型事業所も併設されており、入所しながらB型に通う利用者もいると伺いました。



思いがけず「スキンケア」活動に参加。初めてのパックに挑戦！

どんな進路があるの？③ ～障害福祉サービス～

18歳になると、「児」から「者」に福祉サービス内容が変わってきます。早い方では、高等部3年生の4月から「者」となり、それまでとは違ったサービス体系での利用が開始となります。今回は「進路便りNo.2」で掲載していない「自立訓練」についてご説明します。

【自立訓練】

生活能力の向上や、社会的自立や社会参加への準備となる訓練を行う。「機能訓練」「生活訓練」があり、それぞれ期間の上限がある。(機能訓練:1.5年)(生活訓練:2年)

※ 機能訓練(1.5年)・・・自立した日常生活や社会生活ができるように、一定の期間、身体機能、又は生活能力の向上を目的とした訓練を行っている。

※ 生活訓練(2年)・・・・・・学校では取得できなかった社会体験や見識を深めるよう専攻科機能をもつ。

・機能訓練+施設入所(1.5年までの期限付き利用)からの進路



・生活訓練+施設入所(2年までの期限付き利用)からの進路



【卒業生情報】

令和5年3月に高等部を卒業した五百蔵穂乃花さんが、吉備高原職業リハビリテーションセンターを卒業し、高知市丸池町の「すずめ共同作業所」に就職しました。吉備リハで学んだスキルを活かし、高知市勤労者交流館内にある(委託先の)café「すずめ」で経理を担当しています。ランチ(お弁当)販売もしていますので、ぜひお立ち寄りください。



◎2月16日(金)

高知ハビリテーリングセンターの方をお招きし、就労アセスメントについてのお話を伺います。

今回は教員対象の研修ですが、次回の進路便りでご紹介したいと思います。

今年もよろしく
お願いします

